

1. 略歴

1996年3月	早稲田大学政治経済学部経済学科卒業
1998年3月	早稲田大学大学院経済学研究科理論経済学・経済史専攻修士課程修了
2001年11月	ライデン大学アジア・アフリカ・アメリンディア研究センター上級修士課程修了
2005年12月	ライデン大学より博士学位 (Doctor) 取得
2006年3月	早稲田大学大学院経済学研究科理論経済学・経済史専攻博士後期課程退学
2006年4月	西南学院大学経済学部講師
2007年4月	西南学院大学経済学部准教授
2012年4月	東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

東南アジア史、海城アジア史、アジア経済史

b 研究課題

アジア域内貿易史、オランダ東インド会社史、グローバル・ヒストリーと歴史叙述

c 概要と自己評価

2012年4月に着任して10年が経過した。2020年度は新型コロナウイルスの蔓延により研究活動には一般的に遅れが見られたが、2021年度になると研究活動は転じて復調に向かった。とりわけZoomなどのオンライン会議システムを利用した国際共同研究が一般的となり、以前に増して容易かつ緻密に国際共同研究を進めることが可能となった。なお、2022年度以降には、こうした新たな研究スタイルに基づく成果が見込まれる。

d 主要業績

(1) 論文

Ryuto Shimada, "Introduction: Perspectives for Viewing Maritime Asian Society during the "Long Eighteenth Century," *Acta Asiatica: Bulletin of the Institute of Eastern Culture*, 122, iii-xv, 2022.2

(2) 口頭発表

国際、Ryuto Shimada, "Junk Trade between Japan and Southeast Asia during the Ming-Qing Transition Period in the Mid-seventeenth Century," An International Workshop to Celebrate the 25th Anniversary of the Journal *Ming Qing Yanjiu: China in the 17th Century: Trauma, Transition and Global Transformations*, Online, 2021.10.22

国際、Ryuto Shimada, "Rhythm of International Trading Business in Early Modern Nagasaki: A Seasonal Analysis," 16th International Conference of the European Association for Japanese Studies, Online, 2021.8.26

国内、島田竜登、「グローバル・ヒストリーのなかのオランダ東インド会社」、第52回北海道高等学校世界史研究大会(オンライン)、2021.8.6

国際、Ryuto Shimada, "Slavery in the Dutch East India Company: A Case Study of the Slavery at the Dutch Trading Post in Nagasaki in the Late Eighteenth Century," Sixth European Congress on World and Global History, Turku, Finland, Online, 2021.6.16

国際、Ryuto Shimada, "Persian, Armenian, and Dutch Merchants in the Trade between India and Siam during the Early Modern Period," Tokyo Session, 65th International Conference of Eastern Studies (ICES), The Tōhō Gakkai, Tokyo, Online, 2021.5.15

(3) その他

島田竜登、「世界システム論」、金澤周作監修『論点・西洋史学』、ミネルヴァ書房、126-127頁、2020.4

島田竜登、「特許会社」、社会経済史学会編『社会経済史学事典』、丸善出版、56-57頁、2021.6

島田竜登、「人の移動と経済史」、社会経済史学会編『社会経済史学事典』、丸善出版、418-419頁、2021.6

島田竜登、「大航海時代」、社会経済史学会編『社会経済史学事典』、丸善出版、426-427頁、2021.6

島田竜登、「オランダ東インド会社の役割：アジアでどのような活動をしたのか」、吉澤誠一郎監修『論点・東洋史学：アジア・アフリカへの問い158』、ミネルヴァ書房、188-189頁、2022.1

(4) 高等学校教科書

岸本美緒、鈴木淳、池田嘉郎、老川慶喜、小松久男、島田竜登、古川隆久、牧原成征、小豆畑和之、仮屋園巖、中家健、野崎雅秀、松本英治、『歴史総合：近代から現代へ』（文部科学省検定済教科書）、山川出版社、2022.3

久保文明、中村尚史、小田中直樹、塩出浩之、島田竜登、守川知子、吉澤誠一郎、荒木圭子、島津聡、高橋哲、津野田興一、藤本和哉、山川志保、『現代の歴史総合：みる・読みとく・考える』（文部科学省検定済教科書）、山川出版社、2022.3

(5) **研究テーマ**

科学研究費補助金、島田竜登、研究代表者、基盤研究 (C) 「グローバル商品の誕生：世界の一体化初期局面の主要 15 品目の生産と多様な消費文化」、2016 年度～

科学研究費補助金、島田竜登、研究代表者、基盤研究 (B) 「近世海上貿易ネットワークの構造と変容：アジアの季節変動とグローバル・ヒストリー」、2019 年度～2021 年度

科学研究費補助金、島田竜登、研究代表者、基盤研究 (C) 「18 世紀アジア域内貿易と季節変動調整メカニズム：オランダ東インド会社を事例として」、2021 年度～

3. 主な社会活動

(1) **他機関での講義等**

客員准教授、放送大学、「グローバル経済史」、2020 年度、2021 年度

非常勤講師、立教大学法学部、「世界史概説」、2020 年度、2021 年度

非常勤講師、立正大学経済学部、「アジア経済史」、2020 年度、2021 年度

(2) **学会等**

史学会、大会実行委員、2012～、理事、2018～2020

社会経済史学会、幹事、2014～2020、常任理事、2021～

東方学会、学術委員、2019～

東洋学・アジア研究連絡協議会、幹事、2018～

比較文明学会、理事、2017～、編集委員、2014～、編集委員会委員長、2017～

(3) **学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員**

東洋文庫、研究員 (客員)、2013～